

ジャガイモシロシストセンチュウの 緊急防除について

令和3年4月
農林水産省消費・安全局植物防疫課

○ ジャガイモシロシストセンチュウ (Gp) の緊急防除における対策

1. 作付けの禁止

Gp確認ほ場におけるなす科植物(馬鈴しょ等)の作付を禁止。

2. 移動制限

- ① 馬鈴しょ、てんさい等を防除区域外に移動させる際に検査を実施
- ② 生食用馬鈴しょについては①に加え栽培中に植物防疫官が検査を実施

3. 廃棄

4. まん延防止対策

- ① 農業機械の洗浄等
- ② 輪作(3年輪作以上)
- ③ 野良生え処理(抜き取り・雪踏み等)
- ④ Gp抵抗性品種の作付け



車輛の幌かけ



農機具の洗浄



野良生え

5. 防除

- ① 対抗植物の植栽を基本とした防除を実施。
- ② 土壌くん蒸は地域の状況を踏まえて実施可能なほ場で実施。

防除計画の例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
2年度 (秋コムギ)	低温	小麦							低温
3年度 (てんさい)		てんさい							
4年度 (対抗植物)		対抗植物植栽					小麦		
5年度 (秋コムギ)		小麦							
6年度 (てんさい)		てんさい							
7年度 (対抗植物)		対抗植物植栽					小麦		



対抗植物(トマト野生種)



播種作業(対抗植物)



土壌くん蒸(DDかん注)

○ 緊急防除期間中及び終了後に必要なほ場管理

1. Gpが確認されているほ場(緊急防除期間のみ)

Gpの増殖や拡散を防ぐために、以下の取組を徹底すること。

- ① 野良生え処理(抜き取り・雪踏み等)
- ② 農機具の洗浄

2. 防除によりGpが検出されなくなったほ場

Gpが再発しないよう、以下の取組を徹底すること(※)。

- ① Gp抵抗性品種の作付け(感受性品種は避ける)(馬鈴しょ栽培時)
- ② 輪作(3年輪作以上)
- ③ 野良生え処理(抜き取り・雪踏み等)

※輪作体系の中でGpが再検出されないことを植物防疫官が確認する調査(フォローアップ調査)を実施

3. これまでにGpが確認されたことのないほ場

防除区域及びその周辺地域において、Gpが検出されないように以下の取組を実施。

- ① 輪作(3年輪作以上)
- ② 野良生え処理(抜き取り・雪踏み等)
- ③ Gp抵抗性品種の作付け(馬鈴しょ栽培時)(種馬鈴しょの確保が可能となった段階)